



【第2807回例会】 11/3 (火) 例会振替 [11/3 (火) 地区大会] 場所：ウエスタ川越
11/10 (火) 休会 (親睦旅行延期のため)
11/17 (火) 移動例会 卓話：門田 裕美 様 (ピアニスト) 演題：「ピアノ&尺八のアンサンブル」 場所：ベルヴィ ザ・グラン
11/24 (火) 休会 (定款の規定により)
12/1 (火) 年次総会 場所：所沢商工会議所 会議室 1・2

## 第2806回例会 レポート

### 会長の時間 見沢 孝一 会長



先日10月13日、所沢4クラブ・ガバナー公式訪問には皆さんにご協力を頂き有難うございました。10月21日は所沢5クラブ会長幹事会がベルヴィ ザ・グランでありました。議題は「子供とうきち将棋大会」のコロナ対策について話し合いいたしました。

今月は米山月間です。米山奨学会は、東京ロータリークラブの米山梅吉さんが1946年昭和21年に亡くなられた後、米山梅吉さんの功績を称え戦後の復興が続く中設立されました。米山奨学会の特徴としては、奨学金の支援だけではなく、奨学生に対し地域のRCが「世話クラブ」となり、「世話クラブ」のメンバーが「カウンセラー」となって奨学生の相談役を務めるところかと思えます。奨学生には世話クラブの例会に月1回以上の出席や例会でのスピーチ、地区の色々な事業に積極的に参加するということが義務付けられています。例会に連絡もせず無断で欠席することや、事業に積極的に参加しないと奨学金が打ち切られてしまうことになります。奨学金は、世話クラブの例会に出席した時に手渡しで支給されます。銀行振込ではありません。世話クラブやカウンセラー制度ということから単に経済的な支援にとどまらない交流という特徴があるためだと思えます。奨学生は、基本的に外国籍の方で、日本国籍を持っている方は対象になりません。本人が大学に在学して、学校に小論文や研究内容などの書類を提出して申し込むこととなります。さらに地区での書類選考や面接選考が行われ、合格すると学校を通して本人に合格通知が手渡されます。学校と地区の二度の選考を経て奨学生になるということです。以上米山奨学生のお話でした。

### 幹事報告 梅沢 好文 幹事

\*11/3(火・祝)は、ウエスタ川越にて地区大会です。Zoom配信をご活用ください。



\*11/17(火)11時30分からベルヴィ・ザ・グランにて飲食を伴う音楽鑑賞の例会予定です。  
\*11月は通常例会がございませんのでお間違いのないようお願いいたします。  
\*12/1(火)は年次総会、8(火)は通常例会です。  
\*12/12(火)クリスマス例会は中止と前回ご案内いたしました。会場変更等を含めて再検討しております。  
\*1/12(火)新年会を中止とし、通常例会へ変更いたします。また当日は1月理事会の予定です。  
\*見沢年度は「アートのあるロータリークラブ」をテーマとし、新春を彩る特別プログラム「土蜘蛛」観劇会をご用意いたしました。会員価格にて観劇が出来ます。  
\*予定変更を伴うことも多くあり、ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。ご協力をお願いいたします。

### 委員会報告



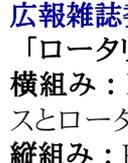
**親睦活動委員会**  
ゴルフ担当 石井 正太郎 さん  
見沢年度・第1回ゴルフ大会が開催されました。当日は天気も良く、皆さん素晴らしいスコアで回られました。優勝は自己ベスト更新された池田さんでした。おめでとうございます!第2回目は4月を予定しております。多くの方にご参加いただけるよう企画を進めてまいりたいと思います。



**エンジョイヘルス委員会** 高橋 興基 委員長  
インフルエンザワクチンをお申込みいただいた方の分のワクチンを確保いたしました。使用期限がある為、11/4(水)~7(土)、14(土)・15(日)のいずれかの日程で接種をお願いします。15(日)は午前のみとなります。後程、事務局よりFAQいたしますのでご確認ください。



**社会奉仕委員会** 二上 昌弘 委員長  
地区補助金でこどもと福祉の未来館にロータリーガーデンという、憩いの場になるようなスペースを田中造園さんご協力のもと造りました。10/19(月)に市長同席のもと贈呈式を行いました。素晴らしい花壇が出来ましたので足を運んで鑑賞して頂ければと思います。



**広報雑誌委員会** 村山 宣章 副委員長  
「ロータリーの友10月号」の紹介  
横組み：P23…連載コミック「ポール・ハリスとロータリー」  
縦組み：P4…地域と共に歩む経営



**出席報告** 荻野 巳喜雄 出席向上委員長 

例会	総数	出席	欠席	MC	%
2806回	60名	54名	6名	-	93.10
2805回	60名	60名	0名	0名	100

見沢年度 累計 **¥221,253-**

**見沢 孝一さん**：本日は米山記念奨学生、ソウ・ホン・ウクさんと米山奨学生記念委員会の新所沢ロータリークラブ幸森さんには、所沢ロータリークラブにおいていただき有難うございます。卓話宜しくお願いいたします。

**幸森 康夫様**：みなさん、こんにちは。本日は奨学生のウク君と2人で来ました。ウク君は来日5年目で、卓話に聞きづらい所があるかもしれませんが、宜しくお願いします。

**鳥居 由美子さん**：皆様お変わりはないですか？9日NewYorkに着きました。羽田もケネディ空港も飛行機もから空きでした。税関は日によってチェック度が違うらしく、当日はスルーでラッキーでした。昨日はNewYorkのヘルスセンターから所在確認の電話があり、今日はPCR検査の要望がありました。ドキドキです。ではまた。

**鳥居 由美子さん**：NewYork時間の10月21日に無事、娘がガッツ石松みみたいな3530gの男の子を出産しました。1泊で退院です。PCR検査は陰性でした。ちなみにお値段は195ドルでした。

**道口 泰己さん**：二男の家族に男の子を授かりました。有難うございます。

**池田 安弘さん**：見沢年度ゴルフ大会にて、チャンピオンになりました。神様がいないと思っておりましたが、当日は神様に後押しをして頂きニコニコする事が出来ました。これからも神様を信じてビジネス、ゴルフを頑張りたいと思います。有難うございました。

**本橋 敬明さん**：先日の第1回見沢年度ゴルフ大会で、3位に入賞しました。次回は、優勝目指しいっぱいニコニコできるよう頑張ります。

**倉片 順司さん**：前回の例会、無断欠席申し訳ございませんでした。目立つ席に座っていますので皆さんにバレてしまったと思います。ニコニコします。

卓話：徐 賢旭 (ソウ ホンウク) 様  
(第2570地区 米山記念奨学生)

韓国から日本へ来て5年目になります。韓国は地下資源等がないので、人間=労働力という資源しかないといっても過言ではありません。製造業が多く、その中でも韓国を支えているのはサムスンと言ってもいいほど有名です。

高校卒業後に兵役生活を2年間経験し、そこで食事を作る調理兵として毎日3人で400人の食事を作っていました。この経験から、趣味がおかず作りとなり料理も得意になりました。兵役生活を終えたら何をしようかと考えた時に、一番したいことをやってみようと思い、日本への憧れ、教育されてきたことが正しいのかを自分で見聞きしたかったという気持ちから、日本に留学することを決めました。兵役中にその準備を進め両親に相談しましたが、日本語が「はい」「ありがとうございます」しか話せない私を心配して反対し、援助もしてくれませんでした。

来日して最初は、日本語学校が新宿にあるので、新大久保に住んでいました。午前中は学校で午後はバイトという生活を1年半続け、つたないながらも日本語が話せるようになりました。2018年3月から大学へ通うために埼玉へ引っ越し、熊谷市に住んでいます。大学での勉強が生活の中心ですが、バイトも継続していて韓国語を教えるボランティアも始めました。大学では建設関係の勉強をしています。実習がほとんどで、生徒が中心となって議論したり作り上げたりする授業で、韓国には無い珍しい学校です。

今後は大学を卒業し、日本の建設会社に就職し、一日でも早く一人前の施工管理技士になることを目指したいです。そして世の中に役立つ建物を建設し、母国と日本の関係向上に寄与する事を頑張っていきたいです。

米山奨学生になって、様々な国との関係や未来について幅広く考えるようになり、関わる人々との話し合いにより新たな考えを持てるようになりました。また、異なる分野の方々と接することで価値観や文化等について勉強になり、より奨学生らしくなりたいと考えるようになりました。自分自身の発展に繋がっていると感じています。

最後に、好きな事が日本の事ばかりで日本での成功を目標に生活していますが、毎日充実しているのは皆様のご寄付のお陰と大変感謝しております。



記念祝福

11月

## ☆会員誕生記念祝福

山根 吉人さん 新藤 隆一さん 本橋 敬明さん  
平岩 敏和さん 栗田 峰至さん 井関 克行さん

## ☆御夫人・御主人誕生記念祝福

武藤 千里さん 内田 明世さん 五十嵐 幸子さん  
浅海 梨花さん 井花 賀津恵さん

## ☆結婚記念祝福

深田 繁さん 當眞 正純さん 池田 安弘さん  
岩下 悦郎さん 日向 貴一さん 見澤 英一さん  
井口 一世さん 荻野 巳喜雄さん 橋本 幹男さん  
木村 良孝さん 小山 祥代さん 平岩 敏和さん  
岩井 英雄さん

## 第2570地区 米山記念奨学委員会より

## 推進委員会

## 幸森 康夫 副委員長 (新所沢RC)

皆さん、こんにちは。地区からのお願い事をご案内しに参りました。

米山奨学事業を発表した1952年の構想では「アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に“平和日本”を肌で感じてもらいたい」というものでした。2020年度における奨学生は全国で883人、内2570地区は16人、2570地区を含め他地区でもアジアのみならず世界中から奨学生を受け入れており、当初の構想から変化をしています。この奨学制度は経済的に困っているから支援するのではなく、国籍や語学力、成績を判断するものでもありません。この事業の使命は、日本と母国との懸け橋となる優秀な人材を育成する事です。奨学生は大学の先生に推薦されることが条件で、成績・性格も申し分なく、将来の目標も明確でしっかりしており、申し分ない学生達であることは歴然としています。奨学期間は1年～2年ですが、その後もロータリーとの接点を持ち、学友同士の友情を深める学友会という組織があります。日本には全国に33地区あり、東南アジア地域の9か国に学友会があります。最後に本題ですが、日本と母国の架け橋となるべく奨学生を一人でも多く受け入れ、お世話して頂きたいと考えています。地区の受け入れ人数は皆様の寄付によって左右され、来年は18名になっています。寄付額に上限はありませんが、目標としては全国平均の一人当たり15,055円をお願いしたいと考えています。今年度はこれを目標として寄付をして頂き、一人でも多くの奨学生が受け入れられるように宜しくお願いします。